



高校生模擬面接

10月2日(土) 高校生模擬面接会を行いました。4校10名が参加しました。
早い方は11月に看護学校面接があるため、職員のアドバイスを聞きながら真剣に取り組みました。
4グループに分かれて、2回ずつ面接官役と受験生役になり練習しました。

- ・自分が予期していなかった事を聞かれた時の受答えの仕方や、自分が面接でどのような感じになってしまうのかなどが分かって良かった
- ・面接官役になることで、どの様な所を面接官が見ているのかを考えられることができた
- ・聞かれた質問に答えるだけでなく、ジェスチャーを使う事の大切さを知った
- ・面接官側に立つことで、どんなところを見て、気になるのかを気付くことができた、受験生役で注意しようと思う箇所を知ることができた
- ・自分が予想していた質問への受け答えを実際言葉にすることによって、考えをまとめることができた
- ・予想していない質問に対して、自分の言葉で伝える力をつけることができた
- ・集団面接の雰囲気を感じ取ることができた



奨学金制度のご案内 貸与金額 月額 50,000円

・奨学金を受けた期間と同期間、当法人施設で勤務することにより返済は免除となります。

対象

- ・看護学校入学が決定した方
- ・看護学校在住の方
- ・免許取得後、当法人で働くことを希望される方

◇詳しくは右記担当者まで

問合せ



岐阜勤労者医療協会

みどり病院

〒501-3113

岐阜市北山1-14-24

☎ 058-241-0681 (代表)

✉ midori-nurse@gifu-min.gr.jp

携帯：090-1621-0243

看護学生担当：荒深

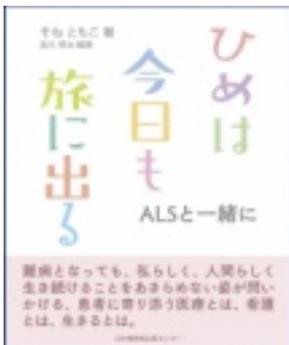


東海北陸地協看護学生ゼミナール DANS

テーマ キズナ ～こんな時だからこそ、人との絆を大切に。
仲間を全国に！！共に頑張っていこう～

10月16日(土)オンラインで参加しました。7県の看護学生と職員合わせて、60名(7グループ)で講演を聞いて、SGD交流しました。岐阜は、4人の奨学生と看護師3人が参加しました。長久さんの講演では、妻がALSになったの話を、患者の立場にたった側と、家族として日々の葛藤を聞くことができました。「何か困っていることはありませんか？」という言葉が発する事の難しさが、心に残りました。患者さんの方からはなかなか困っているけど何も言えず…。こちらから聞けば、責任も仕事も増えてしまいます。けれど患者さん個人をみてくれていると患者さん側は思い、「何かあれば教えてください」というような受け身ではなく、こちらから聞く姿勢が大切なんだと思いました。

そねともこさん(妻)著書の「ひめは今日も旅に出る」の中では、ALSと分かるまでの事や、2人の共通の趣味である旅行のこと、猫のこと、だんだんと不自由になっていく体のことが書かれています。同年代なので、もし自分が長く生きられないと知った時どうするのかは実際なってみないと想像する事も出来ず、ただただ毎日健康にすごせて、やりたいことができる毎日に感謝しなければと思いました。



1G、6～7人でSGD 日々の事、学校の事、看護師という仕事の事、意見交換しました。

インターンシップ受付中です！！



Twitter Instagram 開設しました。

病院の情報・活動など更新しています

